平成23年度 9月補正予算の概要

会計		補正前予算額	補正予算額	計	対前年同期比	
					伸率	H22 9月補正後
		千円	千円	千円	%	千円
一般会計		10,641,420	334,072	10,975,492	△2.7	11,280,178
特別会計	介護保険事業	2,192,252	346	2,192,598	4.0	2,108,748
	下水道事業	1,513,743	△114,195	1,399,548	△24.3	1,847,722
	上宮津財産区	8,182	4,037	12,219	40.7	8,686
	その他	3,431,412		3,431,412	9.4	3,136,526
	計	7,145,589	△109,812	7,035,777	△0.9	7,101,682
水道事業会計		602,072	6,133	608,205	9.6	554,710
合計		18,389,081	230,393	18,619,474	△1.7	18,936,570

９月補正予算の概要

一般会計

（単位：千円）

事項名	補正額	補正額の財源内訳				概要		款名
		国府支出金	地方債	その他	一般財源			
○観光を基軸とした産業振興								
（新）大手川にぎわい創出事業	7,000	3,500			3,500	大手川ふれあい広場の整備ほか	①	総務費
元気な海づくり支援事業 （補正後事業費：5,220千円）	750				750	アサリ養殖筏の整備支援	②	農林水産業費
○環境保全と生活環境の向上								
景観まちづくり推進事業 （補正後事業費：22,001千円）	17,900	8,950	8,900		50	市道如願寺線の美装化整備	③	土木費
○教育の充実と人材育成								
（新）地域食育推進事業	300	300			0	家庭・地域と連携した小学校における食育の推進	④	教育費
（新）学校施設整備推進事業	3,000				3,000	学校耐震化、給食施設整備に係る基本方針の策定	⑤	〃
○健康増進と福祉の推進								
(新)特別養護老人ホーム整備促進事業	10,000		10,000		0	特別養護老人ホーム整備に係る支援	⑥	民生費
児童虐待対策事業 （補正後事業費：2,034千円）	1,334	1,334			0	家庭訪問用車両の購入、子育て講演会の開催ほか	⑦	〃
(新)子育てに優しいまちづくり事業	7,600	7,600			0	保育所へのＡＥＤ設置、児童遊園等の遊具の安全対策ほか	⑧	〃
(新)健康づくり運動推進事業	5,000	4,200			800	インターバル速歩導入による健康づくり運動の推進	⑨	衛生費
○暮らしの基盤の整備								
(新)公共交通バリアフリー化支援事業	［債務負担行為（H23～H33）］ 137,000千円及び利子等相当額					宮津駅及び天橋立駅のバリアフリー化支援	⑩	
地域情報化施設管理事業 （補正後事業費：35,079千円）	13,700		16,000		△2,300	光ファイバー網接続のための追加引込工事ほか	⑪	総務費
戸籍住民基本台帳管理運営事業 （補正後事業費：17,692千円）	13,580				13,580	住民基本台帳法改正に伴う住基システム改修ほか	⑫	〃
「命の里」生活環境整備事業 （補正後事業費：30,000千円）	20,000	13,300	5,000		1,700	上宮津、日ヶ谷地区の道路・水路の整備	⑬	土木費
消防施設整備事業 （補正後事業費：26,350千円）	25,700	5,617	18,000		2,083	消防ポンプ自動車の更新、車庫の整備ほか	⑭	消防費
（新）防災体制強化事業	5,500			500	5,000	津波避難場所の指定、防災マップの作成ほか	⑮	〃
○市民との協働								
市民協働事業 （補正後事業費：16,100千円）	7,500			7,500	0	公園遊具設置等のコミュニティ活動への支援	⑯	総務費
○雇用・生活緊急対策								
緊急雇用対策事業 （補正後事業費：191,409千円）	65,498	65,498			0	全29事業、雇用者数53人	⑰	労働費
○災害復旧事業								
農地農業用施設災害復旧事業 （補正後事業費：29,303千円）	18,803	10,322	5,900	2,544	37	集中豪雨により被災した農道・水路等の復旧	⑱	災害復旧費
林業施設災害復旧事業 （補正後事業費：10,875千円）	5,275	3,270	1,600	158	247	集中豪雨により被災した林道の復旧	⑲	〃
公共土木施設災害復旧事業 （補正後事業費：52,700千円）	46,000	23,879	22,100		21	集中豪雨により被災した道路・河川等の復旧	⑳	〃

事 業 名	大手川にぎわい創出事業					
今回補正額	7,000 千円			補正後予算額	7,000 千円	
	財源	一般	3,500 千円		財源	一般	3,500 千円
		特定	3,500 千円			特定	3,500 千円
補正の理由	大手川周辺における賑わい創出のための整備を行う					

目　　的

大手川ふれあい広場等を整備することにより、観光客の集客を図るとともに、地域住民の憩いの場を創出し、大手川周辺の賑わい創出を図る。

事業概要

当事業は、昨年度整備された宮津城の城壁や大手川ふれあい広場等の公共空間を活用し「にぎわい創出事業」に取り組むこととして設立した「大手川ふれあい未来塾」が、京都府の公共空間活用推進事業により実施するもの。

【大手川ふれあい未来塾】
会長：余田光基（宮津商工会議所副会頭）
構成団体：宮津商工会議所、社団法人天橋立観光協会などの地元商工観光団体
京都府、宮津市等

【全体事業費・内容】

実施主体	事 業 費	事 業 内 容
宮津市	7,000 千円 （府補助金 3,500 千円）	● イベント用照明及び給水設備・電源増設等 ● 長屋門内外装改修等 ● 本館南棟周辺整備
京都府	10,000 千円	● 大手川周辺プロムナードの整備
民間団体等	7,500 千円 （H23.24 の２カ年間で実施）	● ライブイベントの実施 ● 屋台村の開設　● てんころ舟の運航
計	24,500 千円	

※公共空間活用推進事業（地域普請）
協働体がそれぞれの役割を果たす中で、行政が管理する道路や河川、公共施設などの「公共空間」を一体的に整備・活用を図る事業

担当係	建設室　土木係　TEL45-1629

事 業 名	元気な海づくり支援事業						
今回補正額	750 千円			補正後予算額	5,220 千円		
	財源	一般	750 千円		財源	一般	3,150 千円
		特定	0 千円			特定	2,070 千円
補正の理由	アサリ育成筏の新規設置に対する支援						

目　　的

活気ある海づくりに向けて漁業経営の安定化、多角化を推進するため、漁業者等が主体となって取り組む事業に対し支援し、豊かな海の恵みの活用による産業振興、地域の活性化を図る。

事業概要

■ 宮津水産物ブランド化推進事業　750 千円

宮津産の水産物の新たなブランド化を図るため、育成アサリの生産体制の強化と安定供給に向けた取組に対して支援する。

・対 象 者　　京都府漁業協同組合（溝尻アサリ育成研究会）
・整備内容　　育成筏１基（８ｍ×12ｍ）
・対象経費　　1,500 千円（育成筏の資材費）
・補 助 率　　1／2（上限 1,000 千円）
・補助金額　　750 千円

【アサリの育成】

京都府農林水産技術センター海洋センターの育成試験を踏まえ、平成 22 年 10 月から溝尻地区の漁業者が実施（筏１基：６ｍ×６ｍ）。今年６月、地元の旅館・ホテルに試験的に出荷した。

●今年度の状況

出荷量　3,770 個　・大サイズ（20g 以上）…1,446 個　中サイズ（15～20g）…2,324 個
出荷先　地元の旅館、ホテル

※出荷先等のアンケートでは、単価はやや高いと感じるが、食材としては魅力的。安定供給体制が整えば使用したいとの声が多く見られた。今後、生産体制を拡充し、地域の食のブランド化につなげていく。

【宮津の海の恵みブランド化推進協議会】

宮津市では、平成 18 年に漁協、仲買人組合、商工会議所、観光協会、旅館組合など 13 団体で構成する「宮津の海の恵みブランド化推進協議会」を立ち上げ、豊富な海の恵みを地域の食ブランドにつなげていこうと取り組んでいます。それぞれの立場から意見を出し合い、生産、流通、貯蔵のあり方など安定供給体制の確立を図ります。

●ブランド化を目指す海産物の出荷量等状況

丹後とり貝…出荷量 30,438 個、出荷額 1,206 万円（H22）
育成イワガキ…出荷量 8,921 個、出荷額 217 万円（H22）
アワビ…藻場造成、種苗放流など（H17～）

担当係	産業振興室　農林水産係　TEL45-1626

事 業 名	景観まちづくり推進事業					
今回補正額	17,900 千円			補正後予算額	22,001 千円	
	財源	一般	50 千円		財源	一般	2,651 千円
		特定	17,850 千円			特定	19,350 千円
補正の理由	景観に配慮したまちなみ形成のための市道の美装化(社会資本総合整備交付金の内示に伴うもの)					

目　　的

市道の美装化を行い、景観に配慮したまちなみ形成の推進を図る。

事業概要

景観に配慮したまちなみ形成を推進するため、宮津市まち景観形成協議会が、大学、地域会議等と一緒になって作成した地区毎の整備方針に基づき、市道の美装化を行う。

■市道如願寺線道路整備等（Ｌ＝170m　Ｗ＝3.8～8.9m）工事費 17,900 千円
（山王宮日吉神社界隈）
【事業内容】
脱色アスファルト舗装、自然に馴染んだ寺町をイメージした擬木風の柵の設置等
【財源】
国庫補助金 8,950 千円（街なみ環境整備事業、補助率 1/2)
市債 8,900 千円、一般財源　50 千円

＜宮津市まち景観形成協議会の概要＞
協議会は、自然、歴史及び文化などの地域特性を踏まえた良好な景観形成の方向性を確立し、宮津らしいまちなみ景観形成を推進するため、積極的な景観まちづくり方針を検討することを目的とする。
※ 学識経験者（２名）や、市民団体（８名）　会長：木内利明氏

宮津市まち景観形成対象区域
文珠界隈、府中界隈、新浜魚屋界隈、和貴宮神社桜山天満宮界隈
山王宮日吉神社界隈、寺町界隈

＜今後の動き＞
魅力ある市街地の景観形成に向けて、地域住民、大学、行政が一体となり、上記界隈別に、「市街地景観ガイドライン」を作成し、これに基づき、まちなみ整備、建築物等の外観修景等を進めていく。

担当係	建設室　まち景観係　TEL45-1630

事 業 名	地域食育推進事業						
今回補正額	300 千円			補正後予算額	300 千円		
	財源	一般	0 千円		財源	一般	0 千円
		特定	300 千円			特定	300 千円
補正の理由	小学校における食育の推進 (「栄養教諭を中核とした食育推進事業」（文科省事業）を府より再委託)						

目　　的

栄養教諭が中核となって、学校・家庭・地域団体が連携しながら、小学校における食育を推進する。

事業概要

■ 小学校における食育の推進

学校給食及び食に関する研究会、調理実習などを通じて、学校給食の充実を含めた総合的な取組を進めることにより、児童の健康の保持増進をはじめとした食育の推進を図る。

（１）各教科における食に関する指導の充実のための取組
（２）地場産物を活用し地域の特色（食材）を生かした学校給食の取組
（３）学校と家庭との連携による食に関する指導の充実のための取組

○ **実施体制**

京都府教育委員会「京都府食育推進委員会」
└ 宮津市教育委員会「宮津市食育推進委員会」 ─ 地産地商(消)連絡会議
　└ 宮津市学校給食・食育研究会
　　栄養教諭部会　給食調理員部会　給食主任部会
　　└ 宮津市立小学校８校　実践中心校・栗田小学校

＜参考：「栄養教諭を中核とした食育推進事業」について＞
・学校での食育推進や学校給食充実のために実施されている文部科学省の委託事業。
・京都府では、「京都府食育推進委員会」を設置し、推進地域での取組を展開。
・宮津市は、平成 21 年度から推進地域に選定され、「宮津市食育推進委員会」を設置して、栄養教諭を中核に家庭・地域と連携した実践的な取組を展開。
（宮津市におけるこれまでの主な取組）
・実践中心校（栗田小学校）における食に関する指導の展開。
・毎月 19 日を「みやづ食の日」とし、市内小学校で統一献立を実施。
・地産地商(消)連絡会議と連携し、地場産物を活用した特色ある給食献立を作成。
・食生活実態調査の実施、「みやづ食育通信」発行による各学校等における食育の取組の発信と家庭への啓発。

担当係	教育委員会事務局総括室　学校教育係　TEL45-1641

事 業 名	学校施設整備推進事業						
今回補正額	3,000 千円			補正後予算額	3,000 千円		
	財源	一般	3,000 千円		財源	一般	3,000 千円
		特定	0 千円			特定	0 千円
補正の理由	学校耐震化や中学校給食実施に向けた整備に係る基本方針の策定						

目　　的

①市内小中学校の耐震化率１００％を目指し、順次、学校施設の耐震化を実施し、安全安心な学校づくりを推進するもの。
②中学校給食実施に向けて、順次、給食施設の整備を行い、学校給食の充実を図っていくもの。

事業概要

■ 学校施設整備に係る基本方針の策定

市内小中学校の耐震化率１００％、中学校給食の実施に向けて、施設の統廃合の動向を見定めながら、今後の学校耐震化や給食施設の整備に係る基本方針（整備手法や時期等）を策定する。

【参考：現在の整備状況】

●市内小中学校の耐震化率　74.4%（全国平均 80.3%：H24.4 現在）
39 棟中 29 棟が耐震化完了。
・耐震化未整備施設（10 棟）

学校名	施設	建設時期	面積
宮津小	北校舎①	S35.03	1,995 ㎡
	北校舎②	S35.08	979 ㎡
	管理棟	S36.05	1,139 ㎡
	南校舎①	S53.12	1,399 ㎡
	南校舎②	S55.08	999 ㎡
由良小	校舎①	S44.03	868 ㎡
	校舎②	S44.09	684 ㎡
吉津小	校舎①	S41.03	1,153 ㎡
	校舎②	S41.10	1,183 ㎡
日置中	体育館	S51.12	571 ㎡

●中学校給食の実施状況
実　施　：１校（日置中学校：日置小学校との親子方式）
実施予定：１校（橋立中学校：H24 年度から実施予定）
未実施：　３校（宮津中学校、栗田中学校、養老中学校）

担当係	教育委員会事務局総括室　学校教育係　TEL45-1641

事 業 名	特別養護老人ホーム整備促進事業						
今回補正額	10,000 千円			補正後予算額	10,000 千円		
	財源	一般	0 千円		財源	一般	0 千円
		特定	10,000 千円			特定	10,000 千円
補正の理由	社会福祉法人が行う特別養護老人ホーム建設に伴う整備支援						

目　　的

社会福祉法人が行う特別養護老人ホーム整備に伴う関連区域工事に対し、支援を行う。

事業概要

社会福祉法人よつば会が平成 24 年度中の開設を目指す、特別養護老人ホーム予定地の造成工事に伴う関連区域工事に対し、助成を行う。

1　助成金額　　１０，０００千円
2　補助対象工事　　予定地周辺の市道舗装及び水路築造工事

（参考）特別養護老人ホームの整備
(1)整備主体　　社会福祉法人よつば会（滋賀県草津市）
(2)施設概要　　特別養護老人ホーム 80 床、ショートステイ 20 床
(3)建物概要　　ＲＣ３階建、延床面積約 5,285 ㎡
(4)総事業費　　約 15 億円
(5)建設予定地　　宮津市字波路
(6)着工予定　　平成 23 年 11 月頃～（造成工事）
(7)開設予定　　平成 24 年度
＊整備後の宮津市の特養数…４カ所、定員 220 床

担当係	健康福祉室　地域福祉係　TEL45-1618

事 業 名	児童虐待対策事業					
今回補正額	1,334 千円			補正後予算額	2,034 千円	
	財源	一般	0 千円		財源	一般	0 千円
		特定	1,334 千円			特定	2,034 千円
補正の理由	児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応のための取組（子育て支援特別対策事業費補助金（児童虐待防止対策緊急強化事業の内示に伴うもの）					

目　　的

児童虐待問題の未然防止、早期発見・早期対応を図るため、児童虐待問題に対する関心、理解を得るための広報・啓発活動の実施に加えて、児童の安全確認や要保護児童世帯の支援に必要な車両等の機材を購入する。

事業概要

■ 児童虐待防止の気運を高める取組　542 千円

家庭や学校、地域など市民全般に児童虐待問題に対する関心と理解が得られるよう広報・啓発活動を実施し、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応を図る。

○ 子育て講演会（仮称）の実施
○ 児童虐待防止懸垂幕の掲出
○ オレンジリボンキャンペーンライトアップ

■ 児童虐待の早期発見のための取組　1,492 千円

児童の安全確認や要保護児童世帯の支援、乳幼児家庭全戸訪問のための機材の購入

○ 訪問用軽自動車の購入（更新）　１台
○ 訪問用自転車の購入　３台
○ 乳児用体重計の購入　２台

※ 継続して実施する広報・啓発活動
・オレンジリボンの着用
・ポスターの掲出、チラシの配布
・広報みやづへの啓発記事の掲載
・オレンジリボンツリーの設置（市民ホール、保健センター、歴史の館）

※当初予算に計上していた事業費に今回補正額を加え、事業計画の組み替えを行った。
全体事業費　2,034 千円（当初 700 千円　９月補正 1,334 千円）

担当係	健康福祉室　児童福祉係　TEL 45-1621

事 業 名	子育てに優しいまちづくり事業					
今回補正額	7,600 千円			補正後予算額	7,600 千円	
	財源	一般	0 千円		財源	一般	0 千円
		特定	7,600 千円			特定	7,600 千円
補正の理由	保育所へのＡＥＤ設置及び児童遊園等における大型遊具等の環境整備（子育て支援特別対策事業費補助金の内示に伴うもの）						

目　　的

市内保育所へのＡＥＤ（自動体外式除細動器）の設置や、保育所・児童遊園における大型遊具の更新・部分改修を行い、地域の児童の安全対策を図り、子育てに優しいまちづくりを推進する。

事業概要

■ 保育所へのＡＥＤの設置　　1,750 千円

市内保育所(７園) にＡＥＤを設置するとともに、職員や保護者等へ講習会を実施するなど、地域の児童の安全対策を推進する。

区分	設置保育所	台数
公立	上宮津保育所、府中保育所、日置保育所、養老保育所	４台
民間	亀ヶ丘保育園、みずほ保育園、吉津保育園	３台
合　計		７台

※既設置園・・・たんぽぽ保育園

■ 保育所等大型遊具の安全対策　　5,850 千円

保育所や児童遊園の老朽化が著しい大型遊具の更新、改修を行う。

○大型遊具：スペースキューブ、滑り台、シーソー、鉄棒等の購入、修繕

○設置場所：公立保育所（養老)、児童遊園（八幡児童遊園、百合が丘児童遊園、岩ヶ鼻児童遊園等）

担当係	健康福祉室　児童福祉係　TEL45-1621

事 業 名	健康づくり運動推進事業						
今回補正額	5,000 千円			補正後予算額	5,000 千円		
	財源	一般	800 千円		財源	一般	800 千円
		特定	4,200 千円			特定	4,200 千円
補正の理由	高齢者を中心とした市民あげての健康づくりの実施						

目　　的

インターバル速歩を軸とした「健康づくり運動」を展開していくため、「リーダー養成講座」の開催並びに地区別「ウォーキングコース」づくり等を実施する。

事業概要

歩くことは、簡単で、しかも、体力の向上、健康づくりに効果があるとされているが、一方で、ただ歩くだけでは効果が薄いといわれている。

より効果のある歩き方「インターバル速歩」の実践を中心に、全市で健康づくり運動を展開する。

今年度は準備年度として次の取組を実施し、平成 24 年度から３ヵ年計画で推進を図ることとします。

(1)　リーダー養成講座の開催　2,936 千円

インターバル速歩を軸とした健康づくりの方法について、講座を開催し、地域・企業のリーダー養成を図る。

(2)　地域インターバル速歩コースづくり　1,400 千円

地域（１４地域）ごとにインターバル速歩のコースづくりを行う。

(3)　指導者の育成等　664 千円

インターバル速歩の指導者として育成するための派遣研修を行う。

※**インターバル速歩とは**…速歩きとゆっくり歩きを数分間ずつ交互に繰り返す運動。強弱をつけることで筋力・持久力の向上に効果があると言われています。特に高齢者は、筋力の衰えから、ちょっとした段差につまづいて転倒し、これが寝たきりにつながってしまう場合があります。

少しでも健康寿命を延ばすため、筋力の維持・向上を大きなテーマに、健康づくりを推進しようというもの。

※なお、健康づくり運動（インターバル速歩の推進）に向けては、市民の皆さんからの提案や意見を伺うため地域懇談会を開催しました。（概要は別紙のとおり）

担当係	健康福祉室　健康増進係　TEL45-1624

健康と福祉の地域懇談会　報告

1　目　的

新たな市の健康福祉サービスについて市長と各地域の自治会、福祉関係者等がひざを交えて懇談。

2　内　容（テーマ）

『健康づくり大運動に向けて』（インターバル速歩を軸とした健康づくり運動の展開）

「インターバル速歩」…早歩きとゆっくり歩きを数分間ずつ交互に繰り返す運動。筋力・持久力の向上に効果的な歩き方。

3　出席者　　自治会長・民生委員・老人クラブ会長・公民館長・公民館主事
公民館活動指導員・社協地区支会長・地区婦人会長

4　開催日及び出席者数

日 程	地 域	人 数	日 程	地 域	人 数
6月30日（木）	日置・世屋	13人	7月22日（金）	宮津東部	18人
7月1日（金）	養老・日ヶ谷	23人	7月26日（火）	宮津中部	19人
7月4日（月）	宮津西部	19人	7月28日（木）	宮津城南部	4人
7月7日（木）	吉津	18人	7月29日（金）	宮津城東部	13人
7月14日（木）	上宮津	14人	8月1日（月）	栗田	21人
7月15日（金）	府中	16人	8月5日（金）	由良	18人
計					196人

5　主な意見

- 市日常生活の中で歩くという習慣づくりが大切。その上でインターバル速歩の良さを PR。
- 既に歩いている人にインターバル速歩の良さをいかに理解してもらうかがカギ。そのためのリーダー養成を。
- 「歩く」という手段での健康づくりは、歩行が困難な高齢者や障害者には取り組みにくい。
- リーダー養成講座では、インターバル速歩だけでなく、運動・栄養等も含めた様々な健康づくりに広く取り組まれたい。
- 運動に縁の無い人を取り込むということも大事。
- インターバル速歩だけでなく、他の分野にも広げた健康づくりの取り組みにしてほしい。

事 業 名	公共交通バリアフリー化支援事業（債務負担行為）
補正の理由	ＫＴＲ宮津・天橋立駅のバリアフリー化整備手法の変更に伴うもの

目　　的

ＫＴＲ駅施設のバリアフリー化の一環として、宮津駅及び天橋立駅のホームにエレベーターを新設し、市民、観光客など利用者が安心して移動できる環境整備を図る。

事業概要

■KTR 宮津駅・天橋立駅ｴﾚﾍﾞｰﾀｰの設置支援（総事業費：350,000 千円）

○整備内容　両駅ホームにエレベーター新設（各駅２基）
　　跨線橋新設、電気工事　ほか

○整備主体　北近畿タンゴ鉄道株式会社（ＫＴＲ）

○事 業 費　350,000 千円
　　（宮津駅：190,000 千円、天橋立駅：160,000 千円）

○債務負担行為の設定
・限度額：137,000 千円＋利子相当分
・期　間：平成 23 年度～平成 33 年度

○ＫＴＲ財源

国庫補助金（決定額）	71,000 千円	
市補助金	142,000 千円	既決額（Ｈ２２繰越分）
ＫＴＲ借入金	**137,000 千円**	今回債務負担行為設定
合　計	350,000 千円	

○今回補正は、最終的な実施内容が宮津駅・天橋立駅の両駅とも「跨線橋の新設によるエレベーター方式」となったことに伴い、その増額分にかかる不足額を支援するもの。

○ＫＴＲの借入額及び利子相当額の償還（10 年償還）に対して、市からＫＴＲに助成するもの。

担当係	企画総務室　企画係　TEL45-1601

事 業 名	地域情報化施設管理事業					
今回補正額	13,700 千円			補正後予算額	35,079 千円	
	財源	一般	△2,300 千円		財源	一般	5,778 千円
		特定	16,000 千円			特定	29,301 千円
補正の理由	宮津市ブロードバンド施設への接続申込数の増に伴う引込線敷設工事等の増額					

目　　的

インターネット通信環境の高速化・安定化を図り、企業活動の円滑化及び産業・生活基盤の向上に資する。

事業概要

■ 光ファイバー網への引込線敷設工事の増額　12,000 千円（補正後 16,000 千円）

高速ブロードバンド環境整備の普及促進を図るため、引込線敷設工事に伴う利用者負担の無料化キャンペーンを実施しており、当初想定した申込件数を上回る見込みであることから、敷設工事費を増額し、迅速かつ確実なサービス利用を目指す。

（単位：件）

	申込件数	申込割合（申込件数／世帯数）
H22（実績）	997	33.6%
H23（12 月末見込み）	77	2.5%
合　計	1,074	36.1%

※ 対象地域の世帯数　2,969 世帯で計算

《引込線敷設工事の無料化キャンペーンの概要》

・対象工事　　幹線～利用者宅までの引込線敷設工事
・対象期間　　平成 23 年度末までの引込線敷設工事申込分
・利用者負担　無料

■ 道路工事等に伴う幹線支障移転工事の増額　1,700 千円（補正後 3,700 千円）

担当係	自立循環型経済社会推進室　まちづくり係　TEL45-1607

事 業 名	戸籍住民基本台帳管理運営事業						
今回補正額	13,580 千円			補正後予算額	17,692 千円		
	財源	一般	13,580 千円		財源	一般	13,874 千円
		特定	0 千円			特定	3,818 千円
補正の理由	住民基本台帳法改正に伴う住基システムの改修						

目　　的

住民基本台帳法の一部改正に伴い、住民基本台帳電算システムを改修する。

事業概要

■住基システム改修経費　11,742 千円

平成 24 年 7 月施行（予定）の住民基本台帳法の一部改正に伴い、住基電算システムの改修を行う。

《参考》住民基本台帳法の一部を改正する法律の概要

・平成 21 年 7 月 15 日公布
・平成 24 年 7 月施行（予定）
・外国人住民を住民基本台帳法の適用対象に加えることにより、外国人住民に係る住民票を作成し、各種行政事務処理の基礎とするとともに、外国人住民の行政機関への届出等の簡素化や手続きのワンストップ化を図る。

■その他　　1,838 千円（嘱託職員報酬）

担当係	市民室　市民窓口係　TEL45-1614

事 業 名	「命の里」生活環境整備事業					
今回補正額	20,000 千円			補正後予算額	30,000 千円	
	財源	一般	6,700 千円		財源	一般	10,100 千円
		特定	13,300 千円			特定	19,900 千円
補正の理由	水路、市道等の生活環境基盤整備					

目　　的

過疎化・高齢化が著しく進んでいる集落の再生に向け、生活環境基盤（水路・市道等）の整備を図り、元気な里づくりを推進する。

事業概要

「命の里」生活環境整備事業　20,000 千円

過疎化・高齢化が著しい集落の再生に向け、府補助を活用して、生活環境基盤（道路水路）の整備を図る。

【実施箇所】

地区名	当初	9 月補正	合計	備考
日ヶ谷地区	1 箇所	9 箇所	10 箇所	市道・里道・水路等
上宮津地区	3 箇所	4 箇所	7 箇所	市道・里道・水路等
計	4 箇所	13 箇所	17 箇所	

※共に育む命の里事業費補助（京都府：補助率 2/3）を充当

◇共に育む「命の里」事業

『農村』は安定な食料や水、空気の供給など住民生活を支える「命の里」として重要であるが、農業の後継者不足や農地の荒廃など厳しい状況にあるため、里の人づくり(ソフト)・里の基礎づくり(ハード)の両面から支援し、農村の再生を目指すもの。

本事業は、このうち生活環境基盤の整備(ハード)を図ることとし、複数集落による地域連携組織が設立され、住民主体による農村地域の活性化に取り組まれる。

【市内の取組状況：(３ヵ年事業)】

実施地区	H21	H22	H23	H24	H25
世屋	●――	――	――●		
日ケ谷	●――	――	――●		
上宮津		●――	――	――●	
日置			●――	――	――●

担当係	建設室　土木係　TEL45-1629

事 業 名	消防施設整備事業						
今回補正額	25,700 千円			補正後予算額	26,350 千円		
	財源	一般	2,083 千円		財源	一般	2,733 千円
		特定	23,617 千円			特定	23,617 千円
補正の理由	消防ポンプ自動車の更新等消防体制の充実						

目　　的

消防施設の整備を図り、活動体制を充実・強化する。

事業概要

老朽化した宮津分団第１部の消防ポンプ自動車及び消防車庫等を更新する。

■ 消防ポンプ自動車の更新　18,000 千円
現消防ポンプ自動車：平成２年度配備

■ 消防団員詰所兼消防車庫等の更新　7,700 千円
現施設：昭和 43 年度設置
※ホース干塔も更新する。

担当係	企画総務室　消防防災係　TEL45-1605

事 業 名	防災体制強化事業					
今回補正額	5,500 千円			補正後予算額	5,500 千円	
	財源	一般	5,000 千円		財源	一般	5,000 千円
		特定	500 千円			特定	500 千円
補正の理由	東日本大震災の教訓を踏まえ、地域防災体制の充実を図るもの					

目　　的

地震・津波、原子力災害など想定し、地域防災体制の充実・強化を図る。

事業概要

■ 津波避難所の明示　　2,900 千円

○ 自治会と調整した海抜 10m以上の津波避難場所の指定とこれに伴う看板等の設置
- 避難対象自治会　７９自治会（全 102 自治会中）
- 指定予定避難高台　９０箇所
  - 避難場所看板　120 箇所
  - 誘導看板　30 箇所

■ 防災マップ・避難マニュアルの更新　　1,017 千円

○ 風水害、地震・津波に対応するため再整理した避難施設や避難所を盛り込んだ防災マップ及び避難マニュアルを更新
- 防災マップ：全戸及び事業所配布　11,300 枚
- 避難マニュアル：全戸配布　10,000 部

○ 由良地区限定の原子力防災にかかる避難マニュアルの新刊
- 由良地区全戸配布　1,000 部

■ 災害時対応備蓄物資の充実　　1,222 千円

○ 地震・津波災害等による孤立化を想定に入れ、食糧備蓄を中心とした物資を充実
- アルファー米　4,000 食
- 災害用食器セット　1,000 枚
- ラジオ　20 台

※ 中長期避難又は、局地的甚大被害に対応するための物資については、宮津与謝 1 市 2 町と消防組合の共同対応とし、消防組合で予算化を予定

■ 地域防災計画改定事務費　361 千円

○ 災害の内容に応じた避難施設や避難場所の整理改定、原子力防災暫定計画の策定
- 防災会議開催経費
- 地域防災計画書印刷製本経費

担当係	企画総務室　消防防災係　TEL45-1605

事 業 名	市民協働事業（コミュニティ助成事業）					
今回補正額	7,500 千円			補正後予算額	16,100 千円	
	財源	一般	0 円		財源	一般	4,500 千円
		特定	7,500 千円			特定	11,600 千円
補正の理由	平成 23 年度コミュニティ助成事業（(財）自治総合センター）の採択に伴うもの。					

目　　的

自治会の活動等を支援することにより、コミュニティの健全な発展を図る。

事業概要

■小寺自治会（遊具設置）助成額 2,500 千円（事業費 2,545 千円）

地域の連帯の中で安心して子育てができる環境づくりを進めるため、自治会が新設する児童遊園内に、遊具を設置する。

■文珠自治会（緑化推進）助成額 2,500 千円（事業費 2,573 千円）

緑豊かな地域づくりを進めるとともに、住民の連帯意識を醸成するため、自治会所有地等の花木を植樹、管理する。

■田原自治会（コミュニティ備品整備）助成額 2,500 千円（2,537 千円）

ホタル鑑賞、田原そば早食い大会などで例年賑わう田原ほたるまつりの運営充実を図るため、テント等必要備品を整備する。

※コミュニティ助成事業について

財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、全国の市町村を通じて自治会のまちづくり活動を支援するもの。

・補助率 10/10　補助限度額 2,500 千円

担当係	企画総務室　企画係　TEL45-1601

事 業 名	緊急雇用対策事業					
今回補正額	65,498 千円			補正後予算額	191,409 千円	
	財源	一般	0 千円		財源	一般	0 千円
		特定	65,498 千円			特定	191,409 千円
補正の理由	緊急雇用対策基金を活用した緊急雇用事業の継続実施 （京都府の緊急雇用対策事業採択に伴うもの）					

目　　的

現下の厳しい雇用情勢の中、引き続き雇用の受け皿を確保するため、府緊急雇用対策基金を活用し、雇用・就業機会を創出する。

事業概要

緊急雇用対策事業のうち、当初予算において６ヶ月分を予算措置した事業について、引き続き継続実施（一部新規事業あり）するため、今回追加補正を行うもの。

■ 継続実施事業

事業名	当初予算		9 月補正		合計	
	事業費（千円）	雇用人数	事業費（千円）	雇用人数	事業費（千円）	雇用人数
緊急雇用創出事業	36,520 (11 事業)	26 人	1,989 (2 事業)	4 人	38,509 (11 事業)	29 人
重点分野雇用創出事業	70,351 (28 事業)	50 人	55,404 (24 事業)	39 人	125,755 (28 事業)	89 人
地域人材育成事業	9,167 (2 事業)	8 人	4,814 (2 事業)	8 人	13,981 (2 事業)	16 人
ふるさと雇用再生事業	9,873 (3 事業)	3 人			9,873 (3 事業)	3 人
合計	125,911	87 人	62,207	51 人	188,118 (44 事業)	138 人

■ 新規事業

事業名	当初予算		9 月補正		合計	
	事業費（千円）	雇用人数	事業費（千円）	雇用人数	事業費（千円）	雇用人数
地域人材育成事業			3,291 (1 事業)	2 人	3,291 (1 事業)	2 人

■ 合計

	当初予算		9 月補正		合計	
	事業費（千円）	雇用人数	事業費（千円）	雇用人数	事業費（千円）	雇用人数
平成 23 年度 緊急雇用対策事業	125,911 (44 事業)	87 人	65,498 (29 事業)	53 人	191,409 (45 事業)	140 人

※　雇用人数は、更新等による継続雇用の場合は重複カウント。

担当係	産業振興室　商工観光係　TEL45-1625

平成23年度　9月補正予算計上「京都府緊急雇用対策事業」一覧

【緊急雇用創出事業】

	担当室	事　業　名	委託先	雇用人数	事業概要	9月補正額　(千
1	健康福祉室	健康いきいきサポート事業	直接雇用	1	健康で、豊かな老後を向かえるために、健康教室等を実施する専門職員を雇用する。	99
2	企画総務室	市民サービス充実事業	直接雇用	3	市が保有する台帳等を整理・電子化し、行政サービスの充実を図る。	1,890
		計		4		1,989

【重点分野雇用創出事業】

	担当室	事　業　名	委託先	雇用人数	事業概要	9月補正額　(千
1	産業振興室	地産地商推進事業	NPO法人地球デザインスクール	1	地産地商を推進するための、地元農林水産物を活用した食のメニューを開発する。	2,649
2	産業振興室	外国人観光客おもてなし推進事業	(社)天橋立観光協会	2	外国人観光客に対する観光協会窓口及び宿泊施設等での対応を強化するため、英語の堪能な人材を雇用し、外国人窓口案内及び職員への教育を行う。	4,200
3	自立循環室	宮津UIターン推進事業	(株)まちづくり推進機構	1	地域の活性化と定住人口の増加、交流人口の増加を目的に、市内の空家・空き店舗情報システムを整備し、UIターン者への情報提供を行う。	1,620
4	産業振興室	空き店舗活用事業	宮津商工会議所	1	まちなかのにぎわいを取り戻すため、市街地等の空き店舗を有効活用し、地域資源を活かした店舗を開設する。	1,720
5	産業振興室	地域資源活用事業	財団法人　京都ユースホステル協会	1	滞在型観光を推進するため、海・農業体験などを活かしたエコツーリズム商品の可能性について調査・研究を行う。	3,150
6	産業振興室	天橋立フィルムコミッション推進事業	宮津メディアセンター実行委員会	1	天橋立へのロケ地誘致を推進するため、ホームページのリニューアルによる情報発信やパンフレットの作成等により、フィルムコミッションを推進する。	1,768
7	産業振興室	宮津まごころ市食育推進事業	宮津まごころ市運営組合	1	農業分野における6次産業化を促進するため、直売事業の充実を図るとともに、販売品を使用した食育レシピの配布等により食育活動を推進する。	1,500
8	産業振興室	漁獲物販路拡大推進事業	京都府漁業協同組合養老支所	1	漁獲物の浜売りの強化や販路を拡大することにより、漁業協同組合の販売体制の強化を図る。	1,400
9	産業振興室	漁業（定置網漁業）生産拡大推進事業	栗田漁業生産組合	2	入網したクラゲの除去やクラゲ・急潮により損傷した魚網の補修を実施する。また、京のブランド産品である「丹後とり貝」の育成事業を継続実施するとともに、浜売り等による地産地消を推進する。	1,227
10	産業振興室	漁業（定置網漁業）生産拡大推進事業	養老漁業株式会社	2	入網したクラゲの除去やクラゲ・急潮により損傷した魚網の補修を実施する。また、地元小学校給食への鮮魚の提供や浜売りによる地産地消を推進する。さらに現在実施している定置網体験の充実を図る。	1,272
11	産業振興室	農業（特産物）担い手育成事業（醸造用ブドウ分）	有限会社たんごワイナリー	2	本市の特産物であるワインの原料となるブドウの生産体制の強化を図るとともに、地域農業を担う新規就農者の育成に繋げる。	2,250
12	産業振興室	天橋立魅力発信強化事業	天橋立文珠繁栄会	1	天橋立の魅力を全国発信するため、空き店舗を活用したPR施設において、天橋立の自然・歴史・文化・芸術・文学等を来訪者にPRする。	1,500

13	産業振興室	観光革命推進事業	㈱観光販売システムズ	1	着地型旅行商品等宮津の観光情報を都市圏で告知･流通させるため、都市圏セールスセンター（観光案内所）へ案内人を配置し、プロモーション活動を行う。	2,969
14	健康福祉室	介護予防支援体制強化事業	直接雇用	1	虐待や対応困難事例などに対応するため、有資格者を雇用し地域包括支援センターの相談体制の強化を図る。	959
15	健康福祉室	高齢者等買物支援事業	宮津商業協同組合	2	ひとり暮らし高齢者等の生活支援対策として、情報通信技術を活用した食料品等の日常生活に不可欠な商品の買物代行、宅配サービスについての仕組づくりを行う。	436
16	企画総務室	KTR利用促進向上推進事業	（社）天橋立観光協会	1	KTR利用者獲得に向けた事業展開、利用促進におけるPR活動を推進する。	447
17	自立循環室	エコ観光まちづくり推進事業	浜町活性化研究会	2	エコな乗り物である「ベロタクシー」を本格導入することで、「エコな観光まちづくり」を推進する。	2,071
18	自立循環室	竹資源有効利用プロジェクト拡充事業	宮津地方森林組合	6	竹林整備と竹資源を活用した製品開発に向けて、竹の伐採･搬出を行う。	13,745
19	自立循環室	木質バイオマスエネルギー活用型環境産業PR事業「エコ･カフェ･プロジェクト」	地球主義な暮らし方研究会	4	宮津市地域における木質バイオマスの有効活用による地域経済の活性化を目的とし、木質バイオマス利用機器の普及、及び、バイオマス利活用の循環から生まれる環境産業の創出、普及を行う。	2,900
20	企画総務室	「協働のまち宮津」情報発信事業	宮津メディアセンター実行委員会	1	市民に市政情報や生活関連情報を効果的に広報するため、ディレクターを雇用し、映像による情報発信を行う。	1,062
21	建設室	伝統建築物等保全･再生事業	天橋作事組	1	地域の伝統木造建築技術の研究及び継承を推進し、地域の担い手である技術者の育成と宮津市における街並み形成の促進及び伝統的で魅力あるまちづくりの推進を図る。	2,450
22	自立循環室	地域ICTビジネス創出支援事業	丹後通信（株）	2	地域産業等のICT化支援を行うとともに、ICT技術を活用した新たなビジネスモデルづくりを行う。	3,000
23	産業振興室	限界集落新規就農者育成事業	NPO法人里山ネットワーク世屋	1	過疎･高齢化が進行する松尾地域において、ほ場整備された耕地の維持と一部遊休農地の解消を図る担い手となる新規就農者の育成に繋げる。	898
24	産業振興室	新規就農者育成事業	和久田ファーム	1	京都府指導農業士による施設園芸を中心とした野菜栽培などの担い手となる新規就農者の育成に繋げる。	211
		計		39		55,404

【地域人材育成事業】

	担当室	事　業　名	委託先	雇用人数	事業概要	9月補正額　（千
1	健康福祉室	介護職員養成事業	株式会社セフティライフ	6	平成23年4月開設の有料老人ホームについて、雇用を確保し介護職員を育成する。	4,287
2	健康福祉室	介護職員養成事業	社会福祉法人 成相山青嵐荘	2	恒常的に不足が生じている介護職員を確保し、円滑な介護サービスの提供に資する。	527
3	健康福祉室	介護職員養成事業	医療法人社団よつば会	2	平成24年から開設予定の特別養護老人ホームについて、開設準備からの雇用を確保し、介護職員を育成する。	3,291
		計		10		8,105

29		合 計		53		65,498

事 業 名	農地農業用施設災害復旧事業						
今回補正額	18,803 千円			補正後予算額	29,303 千円		
	財源	一般	37 千円		財源	一般	3,777 千円
		特定	18,766 千円			特定	25,526 千円
補正の理由	平成 23 年５月発生災害の復旧対応						

目　　的　災害により被災した農地及び農業用施設(農道、水路)の復旧を行い、生産基盤の機能回復を図る。

事業概要

■平成 23 年 5 月 29 日～30 日発生台風 2 号豪雨災害

【国庫災害】

区分	地区	個所	事業費 千円	概　　要
農地	松尾、日ヶ谷、田原、大島、奥波見	11 個所	12,659	崩壊畦畔の復旧 工法：フトンカゴ 等
農道	日ヶ谷、田原、大島、奥波見	4 個所	4,882	崩壊路肩の復旧 工法：ブロック積 等
水路	日ヶ谷、奥波見	2 個所	1,262	崩壊法面の復旧 工法：法面工 等
合　　計		17 個所	18,803	

※基本補助率：農地 50%　施設 65%
　受益者負担率：補助残の 30%（農地 15%　施設 10.5%）

◎参考

6 月補正予算に、市単費対応分を計上し、順次復旧を図っています。

区分	地区	個所	事業費 千円	概　　要
農道	宮津、由良、養老、日ヶ谷	16 個所	7,200	・浸食を受けた農道路面の路盤工 ・法面が崩壊した農道の土砂除去 ・用排水路に堆積した土砂の浚渫工及び法面の復旧工 等
水路		16 個所		

担当係　産業振興室　基盤整備係　　TEL45-1627

事 業 名	林業施設災害復旧事業					
今回補正額	5,275 千円			補正後予算額	10,875 千円	
	財源	一般	247 千円		財源	一般	3,227 千円
		特定	5,028 千円			特定	7,648 千円
補正の理由	平成 23 年５月発生災害の復旧対応					

目　　的

災害により被災した林道の復旧を行い、機能の回復を図る。

事業概要

■平成 23 年 5 月 10～11 日発生豪雨災害［※成相線のみで被害が発生］
■平成 23 年 5 月 29 日～30 日発生台風 2 号豪雨災害

【国庫災害】

路線名	個所	復旧延長(m)	事業費(千円)	概　要
角突山線	1	21	3,213	崩壊路肩の復旧 工法：擁壁工(鋼製Ｌ型)
成相線	2	34	1,007	防護柵及び崩壊法面の復旧 工法：防護柵工及び 法面保護工
新宮線	2	15	1,055	崩壊路肩の復旧 工法：擁壁工(フトンカゴ)及び 擁壁工(ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ式)
計	5	70	5,275	

※基本補助率：角突山線、成相線 65%　新宮線 50%
　受益者負担率：補助残の 30%

◎参考

6 月補正予算に、市単費対応分を計上し、順次復旧を図っています。

区　分	箇所	事業費（千円）	概　要
林道等	21	3,500	林道 4 路線(角突山線、成相線、新宮線、作業道皆原線)　崩壊土砂除去等
市有林	1	300	林地（治山）　崩壊土砂除去
計	22	3,800	

担当係	産業振興室　基盤整備係　　TEL45-1627

事 業 名	公共土木施設災害復旧事業						
今回補正額	46,000 千円			補正後予算額	52,700 千円		
	財源	一般	21 千円		財源	一般	4,521 千円
		特定	45,979 千円			特定	48,179 千円
補正の理由	平成２３年５月発生災害の復旧対応						

目　　的

災害により被災した市道及び河川等の復旧を行い、地域の安全と生活基盤の確保を図る。

事業概要

平成 23 年5月 29 日から5月 30 日の台風2号及び豪雨災害

1 【国庫補助災害】

工種別	地区	箇所数	事業費
河　川	日ヶ谷、由良	3 箇所（6 工区）	16,300 千円
道　路	田原、木子、松尾、日ヶ谷	8 箇所（8 工区）	19,500 千円
合　　計		11 箇所（14 工区）	35,800 千円

※補助率：２／３

●工事雑費　300 千円

2 【単 独 災 害】

〔道路、河川等の復旧で国庫補助対象とならない災害復旧〕

工種別	地　区	箇所数	事業費
河　川	奥波見	1 箇所（1 工区）	450 千円
道　路	石浦	2 箇所（2 工区）	450 千円
その他(下水路)	河原	1 箇所（1 工区）	9,000 千円
合　　計		4 箇所（4 工区）	9,900 千円

担当係	建設室　土木係　TEL45－1629